

日本アーティスティックスイミングチャレンジカップ 2021 競技用音源について

競技用の音源（データ & CD）について音響担当からのお願い

■音源について

本大会の音源は下記をご確認の上、提出をお願いいたします。

- ① アーティスティックスイミング競技規則に従って作成ください。
- ② 音源作成時の注意をよく読み、音源を作成してください。パソコン編集の場合、Windows は WAV ファイル、MAC は AIFF ファイルで作成してください。（後述）
- ③ 音源は事前提出、バックアップ用 CD は大会会場で提出お願いします。

■事前提出について

提出締切日：5 月 30 日（日）

提出方法：下記提出先へメールに添付してお送りください。

音源提出先：有限会社 シー アンド サンド 担当 関口光明

E-mail：sea-sand.ms@minos.ocn.ne.jp

携帯電話 090-7836-6841

電話が繋がらない場合は、留守電にメッセージを残していただくか、メールにてご連絡ください。

A) メール送信の場合

- ① Windows は WAV ファイル、MAC は AIFF ファイルをお使いください。
- ② 無料転送サービス GigaFile 便（ファイル保持期間 14 日を指定）をお使いください。
- ③ 1 曲ずつ送る場合は ZIP ファイルを使う必要はありません。数曲まとめて送る時は ZIP ファイルをお使いください。
- ④ メール本文欄に以下 B) に書かれている種目名、所属クラブ名、選手名、タイムを記入の上、転送ファイルの URL を貼り付けてください。

B) ファイル名表記方法 ⇒以下の記載方法に従ってください。

① 種目名

- ・フリールーティンは SFR、DTR、TFR、
- ・テクニカルルーティンは STR、DTR、TTR、
- ・男子は M/SFR、M/DFR と最初に M を付けて下さい。
- ・FC=フリーコンビネーション、HR=ハイライトルーティン

- ② 所属クラブ名、選手名、タイムをこの順序で記載してください。

■バックアップ用CDの提出について

6月16日(水)、公式練習日にバックアップ用CDをクラブチーム毎にまとめて、プールサイドの音響席までご持参ください。公式練習日に来場しない場合、会場到着後、速やかに提出願います。

- ① 各選手の出場種目ごとにCD1枚とし、CDの最初に1曲を録音してください。

※ディスクはCD-Rを使って下さい。CD-RWは再生時にトラブルがあります。

- ② CDのジャケット及びラベルに、種目名(SFR, DTR等)、所属クラブ名、選手名、タイムを記載してください。

※盤面に油性ペンで直接記入してください。⇒CD-R自体が薄いので、あまり力入れずに書くのがベスト。

⇒ラベルを貼った場合、ラベルの厚みや貼り方の歪みで回転不良等が発生し再生できない場合があります。直接レーベルに印刷の場合も同様の場合があります。

- ③ トラブルが発生した場合に備え、規則通り予備の2枚はご用意ください。

※現地で音源を変更する際はCDでもUSBでも受け付けます。

■バックアップ用CDの持ち帰りについて

バックアップ用のCDは各出場競技終了後、観客席に上がる前にクラブ毎にまとめて音響席からお持ち帰りいただくようお願いいたします。万が一、6月20日(日)最終競技終了後、残っているCD、USBは処分させていただきますのでご了承ください。

音源作成時の注意（より良い音で演技をしていただくために）

現在音楽ファイルは WAV,AIFF,mp3 をはじめ多く存在しますが、ファイルによっては市販の CD プレーヤー、CD ラジカセでは再生できない場合があります。CD を自分達で作成する場合、以下の事項を注意し作成してください。

また 5 月の日本選手権では、録音時の入力オーバーで音が割れてしまうものが多々ありましたのでご注意ください。

- ① パソコン編集した音楽を「windows Media Player」や「iTunes」を含むライティングソフトで CD にする時は、必ず「オーディオ CD(音楽 CD)」「オーディオ CD を作る」等を選んで作成して下さい。

⇒データ CD や mp3 ディスクは選ばないでください。

※データ CD だとパソコンでは再生できても、市販のオーディオ用 CD プレーヤーでは「再生できない、早送りや巻き戻しが出来ない」等が生じ、曲かけ練習に支障をきたします。

・確認方法

予め手持ちの CD プレーヤー、CD ラジカセ等（なるべく数種類で）で再生できるかを確認してください。

- ② 参考までに WAV（または AIFF→MAC）と mp3 について

・WAV（または AIFF）は市販の CD と同じ音質。パソコンで大会用の音源を作る場合は CD 等から WAV（または AIFF）が望ましいです。

・mp3 は音質、容量を圧縮（間引く）しているので、スマホ、ipod、ウォークマン等で聴くには適していますが、日本選手権、チャレンジカップ等の大きな大会で、大きな音量を出す場合は音質の違いが出てきます。

⇒特に曲によっては、シンバルや高音域のヴァイオリンやピアノの音質、ベースや大太鼓等低音の豊かさ等に違いが出て、豊かな音楽迫力ある音楽にはなりません。

・mp3 で編集した音楽を WAV ファイルに作り直したとしても、音質が良くなることはありません。⇒mp3 にした時にすでに圧縮しているためです。

※パソコンやスマホでダウンロードした音楽は既に圧縮されており（YouTube は更に悪化）、これを mp3 にすると更に圧縮され、音質はより劣化します。特にオーケストラ等生楽器の音楽は迫力が削がれ、音量を上げてても迫力は出ません。